

スイス モントルー、ジュネーブへの訪問について

次の日程で、川崎市長が訪問します。

日程 2014(平成 26)年 7 月 9 日 (水) ～7 月 13 日 (日)

1 目的

平成 26 年 11 月 22 日よりミューザ川崎シンフォニーホールを中心に「モントルー・ジャズ・フェスティバル・ジャパン・イン・かわさき 2014」を開催いたします。今年には日本とスイスの国交樹立 150 周年の記念事業として、より一層内容を充実させるため、スイス モントルー・ジャズ・フェスティバル マシュー・ジャトン CEO・事務局長からの招聘に応じて公式表敬を行います。また、横田めぐみさんの拉致問題解決に向けて、ジュネーブの国連人権高等弁務官を訪問して、協力を要請するため現地を訪問します。

2 訪問者

- (1)川崎市長 福田 紀彦
- (2)川崎市議会議長 浅野 文直

3 主な日程

- 7 月 9 日 (水) 成田発、チューリッヒ着 モントルーへ移動
- 7 月 10 日 (木) ジュネーブへ 国連人権高等弁務官訪問、マシュー・ジャトン CEO・事務局長訪問、前夜祭公式パーティー参加
- 7 月 11 日 (金) モントルー市長訪問、ジャパンデー・モントルー市主催記念レセプション参加、ジャズ・フェスティバル視察
- 7 月 12 日 (土) チューリッヒへ移動 チューリッヒ発 (午前中)
- 7 月 13 日 (日) 成田着

4 モントルー・ジャズ・フェスティバルとは

避暑地として有名なスイスの南部の都市モントルーで、創始者でプロデューサーであったクロード・ノブス氏によってまちおこしを目的に 1967 年から始められ、半世紀近くにわたって開催されている世界三大ジャズ・フェスティバルの一つである。

レマン湖のほとりで毎年7月初旬から中旬に開催されるこのフェスティバルは、ジャンルを超えたコラボレーションや大ベテランと無名のミュージシャンのセッションなど世界中から多くの音楽家が集まり、約24万人の観光客がモントルーを訪れている。

5 川崎開催の経緯

モントルー・ジャズ・フェスティバルを日本で開催するための誘致活動を行っているモントルー・ジャズ・フェスティバル日本開催事務局から、音楽によるまちづくりを進めている本市に2009年の夏に提案があった。

本市では、音楽大学と連携した取組など「音楽のまち・かわさき」ならではのフェスティバルが計画できることから、学生やジャズ愛好家に限らず、まちの活性化に寄与する魅力あるコンテンツとして捉え、2010年7月1日に日本開催事務局の市長表敬訪問を受けて、意見交換を行い、市長の親書を発行することとした。親書は、同年7月に創始者クロード・ノブス氏に届けられ、川崎開催の承諾を得た。

同年11月には、昭和音楽大学、洗足学園音楽大学、川崎市文化財団、川崎市などによる実行委員会が設置され、川崎開催について発表を行った。2011年7月には、市長、市議会議長、商工会議所会頭らが現地訪問し、クロード・ノブス氏から、実施方法などについて合意を得た。

このような経過を踏まえ、「モントルー・ジャズ・フェスティバル・ジャパン・イン・かわさき2011」が2011年11月22日から27日まで、市内5か所で開催され、メインステージでのコンサートのほか、ワークショップやフリーライブ等を開催し、初年度には7,000人を超える参加者があった。2013年11月23日から行われた第3回目の「モントルー・ジャズ・フェスティバル・ジャパン・イン・かわさき2013」では11日間で、15,000人の参加者があった。

6 国連人権高等弁務官とは

国連人権高等弁務官、OHCHR（英語：Office of the United Nations High Commissioner for Human Rights）は、国際連合に属する組織の一つで、世界各国における人権の保護と啓発を目的として活動、スイスのジュネーブに本部を置き、500名あまりの職員数を擁する。

国際的な人権保護の専門組織の設置を求めるアメリカ合衆国などの提案に基づき、1993年に国際連合総会でのウィーン宣言及び行動計画の承認の決議により、設立が決定された。組織のリーダーである高等弁務官には、国際連合の事務次長クラスが当てられ、国際連合人権理事会と協力しながら、国連機関における人権問題に関する活動を統率する。

川崎市市民・こども局市民文化室
電話 200-2306（内線）27703